

お知らせ掲示板

実施団体募集 ふるさとづくり青年隊・地域団体募集

ふるさとへの関心や地域貢献への意識を高めようとする若者を受け入れる、地域団体を募集しています。

活動補助 1団体につき上限50万円程度

募集時期 令和3年2月中旬～3月上旬

問い合わせ 青少年本部 活動支援部

実施団体募集 「子どもの冒険ひろば」実施団体募集

子どもたちが野外で自由に遊ぶ場を運営する地域の団体・グループを募集しています。

募集団体数 概ね50団体

活動補助 1団体につき最大50万円(開催回数による)

募集期間 令和3年3月中旬～4月中旬

問い合わせ 青少年本部 活動支援部

生徒募集 県立山の学校 生徒募集

対象 中学校を卒業した20歳までの県内在住の男子

募集時期 追加募集中(定員に達し次第終了)

問い合わせ 山の学校 ☎0790-62-8088

雑記帳

○こどもの館の改修工事

大規模改修工事のため、昨年12月7日より休館になりました。リニューアルオープンは今年の夏を予定しています。業務は行っていますのでお問い合わせは同館まで。

○兵庫県遊技業協同組合から寄付

同協同組合(平山龍一理事長)は、県内のパチンコ・パチスロ店をつくる団体で、青少年の健全育成を願い当本部に寄付金をお寄せ頂いています。寄付は、今年度で34年目、総額では2860万円にのぼります。

参加者募集 ふるさとづくり青年隊・参加青年募集

地域の活性化や課題解決に取り組む地域団体に参加し、ふるさとへの関心や地域貢献への意識を深めたい若者を募集しています。

対象 地域づくりに興味のある概ね40歳までの青年

募集時期 令和3年2月中旬～4月末(一次募集締切)

問い合わせ 青少年本部 活動支援部



しあわせな出会いを見つけよう!

リーズナブル!
登録手数料
5,000円/年
※20歳代は3,000円/年

安心安全
兵庫県がサポート!

ひょうご出会いサポートセンター

賛助会員を募集しています

次代を担う青少年を育成するためぜひ協力をお寄せください

賛助会費は税制面での優遇措置の対象になります
～ご寄付いただいた方の名簿をホームページに掲載します～

会費 賛助会員(個人) 年額 1口 2,000円以上
賛助会員(法人) 年額 1口 10,000円以上

賛助会員カードを提示すると、県内の美術館等で
入館料・入園料割引等の特典を受けることができます

公益財団法人 兵庫県青少年本部



青少年を暴力団から守ろう!!

神戸暴力相談所 ヤクザゼロ

078-362-8930

青少年団体紹介 Vol. 3

兵庫県青少年団体連絡協議会に加盟する、県内で活動する青少年団体を順次紹介します。

一般社団法人ガールスカウト兵庫県連盟

— わたしが変わる。未来が変わる。 —

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3 兵庫県民会館8階
TEL: 078 (891) 7025 FAX: 078 (891) 7025
兵庫県連盟 ホームページ: <https://www.gsj-hyogo.org/>

ガールスカウトは、少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために責任ある市民として自ら考え行動できる人を目指して活動する世界150の国と地域で、約1,000万人の会員が活躍する少女と女性のための団体です。日本では47都道府県すべてに活動の拠点があり、少女一人ひとりの持つ可能性を引き出すために、体験による学びを重視して、考える力、行動する勇氣、支えてくれる仲間を得て、共に成長する活動を行っています。



2020年11月23日 ふれあいフェスティバル・友情の輪

青少年ひょうご

No.102

2021年2月発行

— 冬号 —



完成モニュメント



こどもの館開館30周年記念「児童彫刻アイデア国際コンクール」除幕式・表彰式(関連記事P7)

特集

新型コロナウイルスに負けない!(パート2)

- ① 青少年のネットトラブル防止大作戦展開中
- ② 県立神出学園 コロナ禍での不登校支援
- ③ 県立山の学校 自然の中で自分発見!



完成モニュメント

CONTENTS

特集 P2.P3

本部事業報告 P4.P5

地方青少年本部だより P6

青少年施設だより P7

お知らせ掲示板 P8

ひょうご青少年憲章

- 1 自分を大切に、自らを律し、行いに責任をもって生きていこう
- 2 ふれあいを深め、正義感をもち、社会を担う一人として生きていこう
- 3 人の痛みや喜びを感じあえる心をもって生きていこう
- 4 多様な人々の存在を受け入れ、ともに支えあって生きていこう
- 5 自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも襟を正して生きていこう
- 6 先人に学び、明日に夢をえがき、勇氣をもって未来を拓いていこう

編集・発行



公益財団法人

兵庫県青少年本部

Hyogo Youth Services Administration

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館8階

TEL.078-891-7410 FAX.078-891-7418

<https://www.seishonen.or.jp/>



地方青少年本部

阪神南青少年本部
06-6481-4634

阪神北青少年本部
0797-83-3138

東播磨青少年本部
079-421-9105

北播磨青少年本部
0795-42-9352

中播磨青少年本部
079-281-9198

西播磨青少年本部
0791-58-2131

但馬青少年本部
0796-26-3648

丹波青少年本部
0795-72-5168

淡路青少年本部
0799-26-2048

神戸事務所
078-647-9091

新型コロナウイルスに負けない!(パート2)



新型コロナウイルス感染症によって学校が臨時休業になり、子どもたちが自宅などで過ごす時間が多くなりました。兵庫県教育委員会の調査によると、基本的な生活習慣の中で特に起床時刻が不規則になり、勉強以外の時間はゲームをして過ごしていた子どもが増えており、ネットの使用時間が1日あたり3時間以上の中学生は32.3%、高校生では54.0%となっています。過度のネット利用は子どもたちに、依存傾向の増大や不登校など社会的な不適応の助長をもたらすといわれています。

青少年本部では、青少年愛護条例の趣旨を踏まえ、安全・安心にネット利用をするためのルールづくりへの支援など「青少年のネットトラブル防止大作戦」を展開しています。

また、学校や友人に馴染めず、不登校などの課題を抱えた子どもたちを支援するため、公立のフリースクールとして「神出学園」や「山の学校」を運営しており、コロナ禍での取組みについてもご紹介します。

青少年のネットトラブル防止大作戦展開中

～人とつながるオフラインキャンプ～

ネットから離れ、自然体験活動等を通じてリアルの楽しさを再認識するとともに、自身の日常生活のふりかえりを行うキャンプを9月に実施しました。

コロナへの対応として、例年より期間を短縮し、場所を家島から三田に変更しました。

3日間という短い期間ではありましたが、子どもたちは自分自身と向き合い、考え、キャンプ終了時に、みんなの前で「ネット以外の楽しみを見つける」「夜の間はスマホを親に預ける」といった、これからの目標を一人ひとりが発表し、帰路につきました。

保護者からは、「共通の趣味がある異年齢の友だちや、全面的に子どもたちに寄り添う大学生のいる環境の中、親の知らないところで成長出来たと思う」という声が寄せられました。



日時 令和2年9月20日～22日(2泊3日)

場所 神戸三田アウトビレッジTEMIL

参加者 10名
(小学生2名、中学生6名、高校生2名)

～スマホサミット in ひょうご2020～

スマホの正しい使い方などネットの抱える問題について、県内小中高生が主体的に考え、意見を発信する場として、スマホサミットを開催しました。参加者は子どもたちが中心で、希望者にはYouTubeで配信しました。

子どもたちから「スマホを使いすぎないよう、法律等で縛りをかけて欲しい」「ICMを通じて、ネットゲームをしすぎると依存になる怖さを多くの人に知ってほしい」といった意見が出ました。また、「保護者からもっと注意をして欲しい」という意見も強くあり、大人たちは驚きをもって受け止めていました。最後に、子どもたちが考えた「ひょうごスマホ宣言2021」が発表され、閉会しました。

日時 令和2年12月13日

場所 兵庫県民会館

参加者 49名(中学生15名、高校生20名、ボランティア大学生14名)



ひょうごスマホ宣言2021

1. 忘れてない? 時間は有限だってこと
2. まだ知らない 画面の奥の 人の気持ち
3. スマホの戸締りできていますか?
4. その言葉 顔見て相手に 言えますか?

県立神出学園 コロナ禍での不登校支援

神出学園では、新型コロナに対して徹底した感染防止対策を施した上で、日常の学園生活や学園行事の開催を通して生きる力を育んでいます! 参加者からの声を紹介します。

(学園生活・学園行事での学園生の声)

○「普通の毎日が送れていること」が不登校やひきこもりの経験者にしたら何より嬉しかった。

○学園生活を通して、プログラムの参加や寮生活でのコロナ禍での生活の仕方を知ることができた。

○最後の「夏祭り」は、準備など大変だったけど、頑張っと思いきり楽しめたのでよかった。

○「学園祭」は、バンドのステージ演奏が不安で緊張したが、協力して成功したのでよかった。

(研修会・連携講座参加者の声)

○外出すらできなくて、ストレスが溜まっていたが、いろんな体験ができて楽しかった。

○コロナの影響で欠席が増えた生徒もいるが、無理をさせないことが大切だと分かった。

(1日交流体験・「カプラ(木製積み木)に挑戦しよう!」に参加した保護者の声)

○スタッフと協力して、身長以上の高さに積み上げたとき、何年か振りに子どもの笑顔を見た。



【神出学園】(開 設) 平成6年10月 (所在地) 神戸市西区神出町小東野
不登校等の青少年が、ゆとりと潤いのある共同生活の中で、自然、人、社会との様々なふれあいや体験を通して自己に対する理解を深め、自らの進路を発見できるよう支援することにより、こころ豊かな青少年の育成を図る。
(対 象) 本科生コース
・中学校を卒業した県内在住の23歳未満の男女
・定員80名、毎週3泊4日、修業年限2年
そのほか「1日交流体験事業」を月2回程度実施しています。



県立山の学校 自然の中で自分発見!

山の学校では、新型コロナで新入生は5月末まで休学となりました。コロナ対策を徹底した上で10月に千種川沿いに縦走を実施しましたが、参加した生徒からは、「毎朝皆で1.2キロ走っているから、体力はついている」とコメントがありました。

自然の中でのさまざまな体験活動と寮生活を通して、よりよい人間関係と生きる力を培い、「元気・やる気・自信・笑顔」づくりを支援するとともに、チェーンソー、小型フォークリフト等の4つの資格取得により「働く意欲」を高めます。

完歩!! 千種川沿い縦走▶



【山の学校】(開 設) 平成5年1月 (所在地) 宍粟市山崎町五十波
学校生活等に馴染めない青少年が、自然を中心とした学びの場で、様々な体験活動を通して、たくましく生きる力を培い、自らの進路を発見できるよう支援することにより、こころ豊かな青少年の育成を図る。
(対 象) 本科生コース
・中学校を卒業した県内在住の21歳未満の男子
・定員20名、全寮制、毎週4泊5日、修業年限1年
そのほか「チャレンジ体験事業」を随時実施しています。



令和3年度「トライやる」チャレンジ体験事業(仮称)

～県立3施設が連携した不登校等児童生徒への支援!～

県立の3施設が、不登校などを抱える小学生や中学生を受け入れ、個々に応じた体験活動を実施します。(授業料は無料、所属小中学校長の判断による出席認定の対象事業)

(受入れ対象者)

通所が可能な県内在住の児童生徒(男女)

(実施時期)

- 但馬やまびこの郷(朝来市)…小・中学生(火・水曜日)
- 神出学園(神戸市西区)…小・中学生(オープンかんで(年3回程度) 中学3年生(金曜日(月2回程度))
- 山の学校(宍粟市)…中学生(月～金曜日)



本部事業報告

令和2年度 少年の主張兵庫県大会 ～中学生のメッセージ2020～

令和2年9月26日(土)、「少年の主張兵庫県大会」が神戸市中央区の兵庫県民会館で開催されました。コロナ禍にもかかわらず、県内中学校79校、4331名から応募がありました。

例年とはプログラムも変更し、観客数も縮小して行われましたが、各地域の代表10名が、将来の夢や生き方、現代的な課題についてしっかり主張し、熱く心に訴えかける姿は素晴らしいものでした。



大会概要

日時 令和2年9月26日(土) 13:30~16:30

場所 兵庫県民会館9階けんみんホール

発表者 ※発表順

地域	名前(学校名・学年)	タイトル	賞
西播磨	秋武 詩音さん (宍粟市立一宮北中学校 ……3年)	未来をつくっていくのは私たち	奨励賞
但馬	室 裕希さん (豊岡市立出石中学校 ……3年)	守り、繋げるふるさとの宝	奨励賞
丹波	長井 健瑠さん (丹波市立市島中学校 ……2年)	私的ソーシャル・ディスタンス	奨励賞
淡路	矢野明日香さん (洲本市立五色中学校 ……3年)	「食」に感謝	奨励賞
神戸	野間口 優さん (神戸学院大学附属中学校 ……2年)	兄が輝ける場所	審査員特別賞
阪神南	元浦 綺花さん (武庫川女子大学附属中学校 …3年)	教育を第一に	審査員特別賞
阪神北	三好 夏帆さん (三田市立ゆりのき台中学校 …2年)	図書館に行こう	奨励賞
東播磨	諏訪 紗奈さん (加古川市立浜の宮中学校 ……2年)	繋げ、思いやりのバトン	優秀賞
北播磨	足立 恋羽さん (多可町立八千代中学校 ……2年)	あなたに笑顔を	優秀賞
中播磨	鈴木 凜さん (賢明女子学院中学校 ……2年)	命	最優秀賞

最優秀作品

命

賢明女子学院中学校 二年

鈴木 凜

私が十一歳の時に弟が生まれ、そして十二歳で父を亡くしました。

一年間で命の誕生と命の終わりを目の当たりにし、命の重さについて色々と考えさせられました。

弟が生まれた時の事を今でも鮮明に覚えています。とても小さな体で、一生懸命泣いていました。

私はかわいいてずっと抱っこをしたり、オムツを替えてあげたり、ミルクを飲ませたり、とにかく弟のそばを離れませんでした。

私が誕生する事は奇跡なんだという事が書かれた本を少し読んだ事があります。

元気に生まれてくる赤ちゃんばかりではありません。お母さんのお腹の中で亡くなってしまう赤ちゃん、無事に生まれても大きな病気を

持って生まれる赤ちゃんなどいます。

なので私も弟が生まれ、顔を見るまでは心配でした。

弟が生まれると、父は本心に嬉しそうでした。おじいちゃんやおばあちゃん、そして周りの人達が大喜びしてくれました。

私が生まれた時も同じだったと聞きました。

みんな大切に大切に育てている命を大事にしようと思います。

弟の成長をみんなで見守り、小さな事でも出来るようになると、家族みんなで大喜びで弟の周りは幸せでいっぱいでした。

幸せいっぱい毎日の毎を送り、一年が経った頃、父が突然亡くなってしまいました。

その日は、いつも通り「いってきます。」と言って会社へ行き、いつも通り帰ってくるものだと思っていました。

突然の事で、私の頭の中は真っ白です。

とても悲しくて寂しくて、夢なのか現実なのか、心の中がグシャグシャでした。

そんな中、弟はいつも通りずっとニコニコ笑って、遊んだり悪さをしたりしていました。けれどお世話をしていると、気がまぎれました。

当たり前ですが、一緒にご飯が食べられる、お出掛けできる

と想っていました。当たり前で過ごせる日々がどれだけ幸せなのかを

知りました。

そして父の気持ちを考えて時、弟の歩く姿を見たかったらうな。

弟の歯が生えた口を見たかったらうな。もっと沢山抱っこをしてあげ

たかったらうな。と、父も悔しかったと思います。

世の中には、自分で命を終わらせてしまう人達がいます。

生きたくても生きられない人がいることを忘れないでほしいです。

きつと、とても辛い事があつたのでしょうか。けれど、まず誰かに話

をしてみると、分かってくれる人が必ずいます。そして、嫌な場所か

ら逃げてもいいのです。

一番大切なのは命です。

みんな生まれた事に意味があります。いろいろな命なんて一つもあり

ません。

知らないうちに、人を傷付けてしまっている事もあります。

自分は冗談でも相手は嫌だったたり、最近はずっと上であつた事もな

く、顔も知らない人に誹謗中傷を書き込み、相手を死に追いやるとい

ったニュースもありました。

まず、「その言動は、自分の大切な人にも出来ませんか？」と聞いた

だす必要があります。

赤ちゃんやお年寄り、肌の白い人や黒い人、世界中の人々の命は平

等です。

今、命について深い理解がない人も、生きていることに感謝ができる

ようにしてもらいたいです。私もこれからの未来、尊い自分の命を

大切に、一度しかない人生を後悔なく歩んでいきます。

子どもの居場所づくり交流会2020

「まちの子育てひろば」「子どもの冒険ひろば」「若者ゆうゆう広場」等、子育て支援活動を展開している方を対象に令和2年10月30日、「コロナ禍における居場所づくりのあり方」をテーマに開催、80人がZoomを通して集いました。

認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸の飛田事務局長に講演いただき、2団体から活動事例をご紹介いただきました。講演、事例発表を聴いた後、参加者同士がコロナ禍における活動方法について意見交換をしました。



Zoomホスト側の風景

ひょうご子ども・若者応援団（次世代育成支援特別助成事業）

青年部本部では、次世代を生きる子どもたちを応援するためのプログラムの事業化を支援しており、その助成対象となった団体の事業が実施されました。

1.神戸YWCA「トータルサポート事業」

来日直後の子どもに対し、日常会話や学校教育で使われる日本語を、今年度は、オンライン授業で指導する事業を展開しています。



この授業での教材はデータ化し、自由に活用してもらえ
るよう、公共財化を目指しています。

2.ピースアンドネイチャー「国際かかしコンテスト2020」

国際色豊かな子どもたちが参加し、各国の文化を感じる「かかし」が集まり、オンラインでコンテストが行われました。



環境を意識したエコフレンドリーについて学ぶこと等を主眼としており、応募作品の写真や田んぼに直接立てた「かかし」を話題に、新しい交流の輪が広がりました。

第48回 兵庫・沖縄 夏期友愛キャンプ

当初、沖縄本島で9月3日から3泊4日のプログラムを予定していましたが、両県のコロナ感染状況を勘案し、初のオンライン交流会に変更して、10月3日に開催しました。沖縄の青年6人と兵庫の青年5人は、それぞれ画面越しに自己紹介し、沖縄戦について平和祈念資料館友の会の語り部の方からご講話いただきました。その後、両県の青年たちによるレクリエーションや記念品交換などで盛り上がり、離れていても繋がりを感じ合えた交流会になりました。



令和2年度「兵庫県青少年本部表彰」

兵庫県青少年本部表彰は、地域で優れた活動を地道に展開している青少年や指導者などを表彰し、その活動をさらに奨励するものです。令和2年度の受賞者に対し、9月26日（土）に兵庫県民会館で表彰式を行いました。



青少年の部

個人 (8人)

今井 直人 (尼崎市)	神野 卓也 (香川県)	田淵 翔太 (高砂市)
成田 里菜 (大阪市)	林 将大 (神戸市)	日高 友絵 (姫路市)
藤田 泰輝 (尼崎市)	藤原 栄弘 (西宮市)	

団体 (3団体)

浩然会高砂空手道スポーツ少年団 (高砂市)
多可町立八千代中学校 生徒会 (多可郡多可町)
兵庫県立川西明峰高等学校 ダンス部 (川西市)

指導者の部

個人 (10人)

池内 亮 (姫路市)	岡部 志保 (高砂市)	神成 富雄 (神戸市)
田中 真江 (川辺郡猪名川町)	中田 和明 (美方郡香美町)	長谷川 操 (加古川市)
波多野 妥 (尼崎市)	平野 順三 (姫路市)	山本 陽子 (川辺郡猪名川町)
脇本 浩三 (美方郡新温泉町)		

団体 (1団体)

公益財団法人 修武館 (伊丹市)

※敬称略

阪神南 TEL 06-6481-4634

●親子演劇鑑賞体験
令和2年12月19日、ピッコロ劇団ファミリー劇場「とつとつといてよ!シャーロックホームズ」を100組の親子が鑑賞し、最後は観客と舞台が一体となってクリスマス気分を味わいました。



東播磨 TEL 079-421-9105

●第19回
少年の主張 東播磨大会
令和2年8月9日、加古川総合庁舎において、中学生8名が、地域での思いやり、将来への思いなど、多様なテーマで発表が行われました。
コロナ禍の中、入場者数の制限等を行いました。発表者の熱意と情熱は例年に負けないものでありました。



阪神北 TEL 0797-83-3138

●子ども北摂里山探検隊
令和2年10月17日、青少年を対象にした里山保全活動として、武田尾廃線敷(宝塚市)でいきもの観察をしました。
午前中は武田尾駅から親水公園までの間の植物や昆虫を、午後は水生生物の観察をしました。



北播磨 TEL 0795-42-9352

●第41回
未来をひらく少年会議
令和2年8月16日に北播磨・東播磨の中学生28名が、各学校からオンライン会議システムZoomを活用して、「コロナ禍を乗り越えるためにネットをどのように活用するか」をテーマに議論しました。



県立こどもの館 TEL 671-2233 兵庫県姫路市太市中915-49 TEL 079-267-1153



開館30周年記念
児童彫刻アイデア国際コンクール
彫刻除幕式・表彰式

令和2年9月12日(土)、児童彫刻アイデア国際コンクール金賞2作品のモニュメントの除幕式及び入賞作品の表彰式を行いました。子どもたちの原画をもとに、造形作家の新宮晋氏が、モニュメントを制作、この日にご披露しました。
当日は、井戸知事、審査員を務めて頂いた建築家の安藤忠雄氏、造形作家の新宮晋氏、画家の中辻悦子氏らによって、「みんなの夢」が書かれた播州織の布で作ったパッチワークの大きな幕を開き、モニュメントの完成を参加者とともに祝いました。
また、3人の審査員による鼎談も行われ、子どもたちへのエールを頂くことができました。
この日は、子どもたちもファンファーレやコーラス、パレエなどで参加し、コロナ禍において校外での活動発表ができる貴重な一日となりました。



県立神出学園 TEL 651-2304 兵庫県神戸市西区神出町小束野30 TEL 078-965-1122



第26回「夏祭り」と「神出学園祭」

今年度はコロナ禍で来場者を保護者・家族に限定して開催しました。ステージ発表や模擬店では学園生が工夫を凝らし、保護者にも運営の協力をいただき、アットホームなお祭りとなりました。
7月29日(水)の夏祭りでは、東北ふれあい交流事業として黄色いハンカチに書いていただいた応援メッセージを被災地に届けることができました。
11月4日(水)の学園祭では、元気アップセミナーとして太神楽曲芸を鑑賞したほか、お茶席や乗馬体験など日頃の練習の成果を存分に披露することができました。



夏祭り



学園祭

地方青少年本部だより



中播磨 TEL 079-281-9198

●ふれあいカヌー体験会
令和2年7月11日、福岡崎青少年野外活動センターのため池にて、小学生を対象にカヌー体験会を開催しました。
時折降る雨にも負けず、子どもたちは元気いっぱいにパドルを漕ぎ、自然を満喫していました。



西播磨 TEL 0791-58-2131

●青少年サポートセミナー
令和2年10月18日、にしはりまエコツーリズム事業と共催で、赤穂市の東福浦海岸において秋の海辺の生き物観察&クリーン作戦を開催しました。色んな磯の生きものを捕まえ、子どもたちの笑顔と歓声があふれていました。



但馬 TEL 0796-26-3648

●但馬中学生からのメッセージ～私の主張2020～
令和2年9月1日、総応募者数100名の中から、但馬管内の代表6名が日常生活や地域活動等の体験を通して、考えていること、感じていることや将来の夢などを主張しました。



丹波 TEL 0795-72-5168

●たんば子ども塾
例年夏休みに高校生が小学生にいろいろな体験を教える「たんば子ども塾」を開催しています。
今年度は新型コロナウイルスの影響で篠山東雲高校の1校でしたが、20人の児童がピオトープで観察を行いました。



淡路 TEL 0799-26-2048

●第36回
淡路青少年の主張大会
令和2年8月29日、島内の小中学生525点の応募作品の中から事前選考を通過した入選者のうち10名が集まり、淡路島の魅力や将来の夢、ネット社会への提言など、日頃の熱い思いを発表しました。



神戸 TEL 078-647-9091

●夏休み子ども木工教室
令和2年8月10日、NPO法人ふたばと共催の木工教室を、コロナ禍のため、例年の半数の定員で開催しました。参加した親子は、一本の木材からイスやベンチを協力し合って作り、楽しい時間を過ごしました。



県立山の学校 TEL 671-2515 兵庫県宍粟市山崎町五十波430-2 TEL 0790-62-8088



県立龍野実業高校跡地の環境整備

山の学校では、自然を中心とした学びの場で、さまざまな体験活動を行っており、その一つ「地域交流活動(環境整備)」を紹介します。
令和2年10月6日(火)に、龍野実業高校跡地の環境整備を行いました。敷地内に生えた雑木等を50～60本伐採することで、校地跡の環境を保ち、近隣住民との調和を図ることに大きく貢献しました。
環境整備は、菖蒲谷(たつの市)、生きがい創造協会(加古川市)等でも行います。



県立いえしま自然体験センター

TEL 672-0100 兵庫県姫路市家島町西島
TEL 079-327-1508



西島1Dayフェスティバル

令和2年10月31日(土)、感謝の気持ちと島の良さを伝えるために『西島1Dayフェスティバル』を実施しました。
底引き網漁で獲れた新鮮なエビをその場で食べたり、獲れたての魚の観察・販売や、カヌー・カヤックなどの体験を満喫しました。
また、リーダーたちが輪投げやクラフトなどのブースを出したり、ハロウィンの仮装をしたりして参加者の方々がとても喜んでおられました。



県立兎和野高原野外教育センター



TEL 667-1336
兵庫県美方郡香美町岡区宿791-1
TEL 0796-94-0211

「野生動物探求会」兎和野の森は野生の王国!

9月5日(土)から1泊2日、野生動物に興味関心のある老若男女17人が集まりました。
日頃、鹿や猪の被害に悩まされている仲間とともに、地域の猟師さんから、野生動物との正しい付き合い方を学びました。
まずは森に入って、動物たちの行動パターンについて…「猪のぬた場」は人間で言えば「お風呂」、体についたノミやダニをスッパリさせる所です。そして夜はお楽しみの「たき火」の集い。参加者の一人は朝まで薪割りに興じてくれました。炎の力は人を野生に戻してくれるようです。



たき火でこんなことも

森の中で、猪のぬた場を発見

薪を割って、たき火の開始。ワクワクです

